

八学大 改組再編構想案

看護学科、学部昇格検討

八戸市の学校法人光星学院は25日、八戸学院大学と同大短期大学の2025年度以降の改組再編構想案を発表した。大学は26年度から現在の2学部3学科のうち看護学科を学部昇格

させ、3学部3学科とする計画で、先行して25年度に地域経営、人間健康の2学科のカリキュラムを再編する方針。

同日、同法人の一戸利則事務局長兼総合戦略室長らが同大学で記者発表を行った。改組再編に関する文部科学省への届け出・申請は今後行うため、現時点では構想案と前置きした上で、地域経営学部地域経営学科は26年度から「仮称・地域共創学部地域共創学科」とし、学びの領域を再編した上で新たに「公務員」「リスク・マネジメント

八戸学院大の水野真佐夫学長と同日短期大学の杉山幸子学長とともに、改組再編構想案について説明する一戸室長

ト」「観光」などに関わる科目設置を検討。健康医療学部人間健康学科は「仮称・人間健康学部人間健康科学科」とし、「競技スポーツ(部活動)」など新規科目の設置を予定している。

健康医療学部看護学科(定員80人)は「仮称・看護学部看護学科」とし、学部への昇格で質の高い看護人材育成に取り組み姿勢を前面に出す。ただ近年は入学者数の定員割れが続いているため、26年度入学生から定員減とする方針。短大部の幼児保育、介護福祉の両学科も同年度に定員減を検討中という。

一戸室長は「少子化の影響が学生募集に出始めている中、今まで以上に『学びの魅力』を創出しなければならぬ」と述べ、今後10年間を見据えて改組再編を進め、安定した学生確保に努める考えを示した。

(千葉真由美)

